

- 2面 平成30年度造園建設功労賞など協会表彰56名を讃える
都市公園など、関係予算の拡大・確保など6項を要望
- 3面 日造協 平成30、31年度 委員会・部会等一覧
- 4面 【学会の目・眼・芽】F20withR◆日本の気候風土、歴史をベースにした風景で“暮らす”
(公社)日本造園学会関東支部長 東京農業大学地域環境科学部 阿部伸太
【ふるさと自慢】群馬県 山口聖子(群馬庚申園株)
真夏も涼しい「森林公園」など藤岡市周辺の見どころ紹介

このたびの大阪北部の地震並びに梅雨前線等による大雨災害において、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様にお見舞い申し上げます。



意見交換会であいさつする和田新也会長(中央)と副会長、業務執行理事

日造協は6月22日(金)、東京都千代田区隼町のホテルグランドアーク半蔵門で、平成30年度通常総会を開催した。総会では議事に先立ち、国土交通省からの情報提供をはじめ、各種表彰(2面)を行った。議事では、平成29年度決算報告、役員の選任の2議案を承認。臨時理事会では、会長に和田新也氏を選任した。当日は、講演会や意見交換会も開催し、関係者多数が参加した。

総会は、藤巻司郎会長が「私どもを取り巻く状況は、担い手3法を契機に大きく変化しており、将来的な事業量の確保、若手入職者の減少等の構造的な課題への対応が急務となっております

(一社)日本造園建設業協会 役員(平成30、31年度)

会長	
和田 新也	箱根植木(株)代表取締役社長
副会長・業務執行理事	
鬼頭 慎一	(株)双葉造園代表取締役
木上 正貢	木上梅香園(株)代表取締役会長
田丸 敬三	東光園緑化(株)代表取締役社長
業務執行理事	
伊藤 幸男	(株)日比谷アメニス専務取締役
卯之原 昇	(株)昭和造園代表取締役社長
正本 大	みずえ緑地(株)代表取締役
山田 拓広	花豊造園(株)代表取締役社長
理事	
有路 信	(一社)公園財団副理事長
井内 優	(株)井内屋種苗園代表取締役
伊澤 透	(一財)建設業振興基金専務理事
宇坪 啓造	北陸緑化(株)代表取締役会長
小栗 達弘	(株)岐阜造園代表取締役社長
加勢 充晴	加勢造園(株)代表取締役会長
金清 典広	(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会会長
嘉屋 幸浩	(株)園建代表取締役
北 総一朗	北造園(株)専務取締役
久郷 慎治	(株)久郷一樹園代表取締役
久保 和男	(株)葉隠緑化建設代表取締役会長
古積 昇	古積造園土木(株)代表取締役
執行 英利	(株)執行茂寿園代表取締役
鈴木 義人	(株)柳島寿々喜園代表取締役社長
多々良健司	(株)多々良造園代表取締役社長
中嶋 和敏	(株)中嶋造園土木代表取締役
中島 祥之	花佐造園(株)代表取締役社長
成家 岳	(株)富士植木代表取締役
西岸 芳雄	(一財)日本花普及センター専務理事
藤巻 慎司	藤造園建設(株)代表取締役
森 茂	(株)森造園代表取締役
森根 清昭	(有)海邦造園代表取締役
諸井 道雄	(株)諸井緑樹園代表取締役
山田 忠雄	(株)山梅代表取締役会長
米内 吉榮	(株)米内造園代表取締役
監事	
内山 剛敏	内山緑地建設(株)代表取締役社長
矢野 幸吉	(株)タイキ代表取締役
渡邊 進	(株)八廣園代表取締役社長

す。社会的な要請である「人と自然が共生する緑豊かな社会の実現」に寄与できるよう、全国組織である日造協の果たす役割を発揮し、引き続き、造園・緑化 藤巻 司郎 会長事業の拡大要望や担い手の育成・確保、技術の向上などに取り組んでいかなければなりません。このような中、日造協活動の強化に向け「会員拡大プロジェクト」の推進に取り組み、新たに70社の正会員を迎えることができました。関係者の皆様に感謝申し上げますとともに、引き続きご協力をお願いします」とあいさつ。

次いで、町田誠国土交通省公園緑地・景観課長より、国土交通省からの情報提供をいただき、その後、造園建設功労賞、業績表彰、勤続精励表彰、感謝状 町田 誠 課長として、56名の方々に表彰状の授与を行った。

議事では、「平成29年度決算報告」、「役員選任」の2議案を審議・承認。平成29年度事業報告、平成30年度事業計画等の報告、委員会・部会活動の報告も行われ、「重点活動2018決議」を採択、閉会した。

その後別室で臨時理事会を行い、和田新也会長をはじめ、副会長、業務執行理事を選任した。

総会後の講演会は、岸岡正登東京国税局課税第二部消費税課軽減税率制度係国税実査官より、「消費税の軽減税率制度の概要について」

岸岡正登 実施官 ご説明をいただいた。

また、18時から意見交換会を開催。意見交換会では、会長、副会長、業務執

樹林

(一社)日本造園建設業協会会長
箱根植木(株)代表取締役社長 和田 新也



働き方改革一步でも前へ

現在我々造園界のみならず、社会全体に働き方改革の波が押し寄せています。早いスピードで法改正等が行われ、長時間労働の観点から遅れを取っている建設業に属する造園業界も、しっかりとした対応が求められています。実現させるにはさまざまな困難が伴いますが、改革のチャンスでもあります。

厚生労働省のデータによると平成26年の建設業労働者の年間総実労働時間が2,078時間なのに対し、全産業平均が1,741時間、製造業1,958時間となっています。一方賃金水準を見ますと、一般労働者において、ここ数年でやっと全産業平均や製造業平均と肩を並べる水準になってきたところ です。

また現場での生産労働者のみの平均では、製造業のそれを大きく下回っているのが現状です。若年層が業界に来ない主因と言えるでしょう。

国土交通省資料を見ても、建設業における高齢就業者率の増加及び若年就業者率の低下は、全産業平均を上回るスピードで進行しています。

建設業における働き方改革実現に向け、国土交通省をはじめ政府も本腰を入れて施策を進めています。

昨年には「建設業の働き方改革に関する関係省庁連絡会議」が設置され適正な工期設定・施工時期の平準化、法定福利費や安全衛生経費の確保、生産性向上等に対する取り組みを行っています。

併せて公共発注者のみならず、主要な民間発注団体、建設業団体及び労働組合が参画する「建設業の働き方改革に関する協議会」も設置されました。

我々造園業者が受注する工事に占める民間工事の大きさを考えれば、協議

会への期待も大きいものがあります。

日造協においても働き方改革を、重点活動2017決議では「安心して働くことのできる環境整備の促進」、重点活動2018決議では「働き方改革の推進」として大項目のひとつとして掲げています。

具体的には要望活動等と平行し、事業委員会及び造園領域発展戦略委員会の担い手育成・確保推進部会、女性活躍推進部会で共同アンケート調査を行い、現状把握及び問題点の抽出に努めています。

今後は抽出された問題点を、建設業界全体として対応する項目、建専連等を通じて解決を目指す項目、日造協独自に解決へ向けて取り組むべき項目、そして各社が取り組むべき項目に整理し、具体的な成果を目指し活動を行っていきたいと考えております。

アンケート調査を通じ、地域や各社の事情によって抱える問題が異なるという現実を再認識させられるケースも多々あります。アンケート調査は会員各位の声をダイレクトに活動に反映させるチャンスでもあります。

全国規模のデータの集積は要望活動に際しても大変大きな力となりますし、日造協活動を出来るだけ多くの会員の課題克服に役立たせるためにも、データの裏付けが必要です。

業界活動にパワーを与えるため、地味で面倒な作業ではありますが、今後ともアンケートへの回答にご協力をお願い致します。

造園業をより魅力的で、将来性ある業とするべく、日造協会員の力を結集し一つひとつ課題を克服してまいりましょう。

奥田直久環境省自然環境計画課長からご祝辞をいただき、伊藤英昌(一財)日本造園修景協会会長が乾杯を発声、和やかな意見交換の場となった。

人事異動

- 国土交通省都市局関係 (6月30日付)
- 朝霞市都市建設部長＝小酒井淑乃(都市政策課都市環境政策室課長補佐)
 - 水戸市都市計画部長＝高橋涼(緑地環境室課長補佐)
- (7月1日付)
- 緑地環境室課長補佐＝澤田大介(朝霞市都市建設部長)

- 都市計画課長補佐＝福田ゆきの(公園緑地・景観課長補佐)
- 公園緑地・景観課長補佐＝伊賀川直美(日本海事センター企画研究部研究員)
- 都市政策課都市環境政策室課長補佐＝下出大介(国営昭和記念公園事務所調査設計課長)
- 国営昭和記念公園事務所調査設計課長＝皆川望夢(都市計画課公園緑地係長)

協会表彰 56 名を讃える

平成 30 年度造園建設功労賞など



造園建設功労賞受賞者の方々

業績表彰受賞者の方々



勤続精励表彰受賞者の方々

感謝状受賞者の方々



造園建設功労賞 (14 名)

総支部	支部	氏名	年齢	所属
北海道	北海道	西谷勝利	82	株道南園芸
東北	宮城	石出慎一郎	53	東洋緑化(株)
関東・甲信	東京	大場淳一	59	株大場造園
〃	神奈川	田澤重幸	62	株田澤園
〃	山梨	石原政人	58	株石原グリーン建設
北陸	石川	北総一郎	50	北造園(株)
中部	愛知	神谷重雄	62	株豊田緑化苑
近畿	兵庫	橋本 渉	70	株対馬造園店
〃	和歌山	小嶋康敬	62	紀北造園土木(株)
四国	徳島	森本明男	70	森本緑地建設(株)
九州	長崎	浦 勝次	56	株西肥緑化土木
本部	香川	古家敏弘	58	株山地宝松園
〃	岐阜	坂井 隆	60	イビデングリーンテック(株)
〃	大分	是永叔宏	64	株林グリーンテクノ

勤続精励表彰 (9 名)

総支部	支部	氏名	年齢	所属
関東・甲信	千葉	角田京子	61	植忠造園土木(株)
〃	神奈川	増田純也	57	株造園建設(株)
〃	〃	伊澤昭二	61	株東開造園土木
〃	山梨	守家 大	52	河野造園土木(株)
北陸	富山	栗山 博	57	株久郷一樹園
近畿	滋賀	富田重和	50	株植空
四国	愛媛	原田裕一郎	48	株戸内緑地(株)
九州	長崎	山道宏之	60	株アートグリーン緑樹苑
〃	宮崎	坂本光雄	59	株橋緑地建設

感謝状 (2 名)

総支部	支部	氏名	所属
関東・甲信	埼玉	小池智恵子	埼玉県支部事務局
本部	東京	(株)石勝エクステリア	

業績表彰 (31 名)

総支部	支部	氏名	年齢	所属
北海道	北海道	廣部悟志	60	株南香園
〃	〃	猪谷直樹	50	株イノタニ
東北	青森	小田桐盛人	60	株大昭造園
〃	山形	富田昌弘	72	株富田造園デザイン
関東・甲信	茨城	永島正行	60	常緑工業(株)
〃	〃	中野哲治	63	茨城県県南造園土木協業組合
〃	群馬	清水 均	62	株しみづ農園
〃	埼玉	小松博之	62	埼玉グリーンサービス(株)
〃	〃	今井正樹	45	今井造園土木(株)
〃	千葉	川名唱之	71	千葉造園土木(株)
〃	東京	成家 岳	45	株富士植木
〃	〃	安田勝巳	48	日産緑化(株)
〃	〃	大澤 実	60	株石勝エクステリア
〃	神奈川	矢部 均	62	株三橋緑化興業
〃	〃	茂手木康司	55	株浜庭苑(株)
〃	長野	岩下正行	63	株信州グリーン
北陸	新潟	小林 裕	69	株小林造園
中部	岐阜	桑原浩一	47	株桑原造園土木
〃	静岡	柴山則行	61	株東海フォレスト
近畿	福井	田辺整靖	55	南下西農園
〃	京都	小島裕史	55	株小島庭園工務所
〃	〃	野村美紀	48	株野村造園土木
〃	大阪	大原 優	55	株キンキ緑地建設(株)
〃	奈良	窪田 洋	45	株ガーデンヤマト
中国	鳥取	西谷勝之	58	株山陰緑化建設(株)
四国	香川	多田委晋	58	株桂組
九州	福岡	大神光明	66	株山緑地建設(株)
〃	〃	大木一郎	64	株北川緑地建設
〃	長崎	大串達郎	59	株庭建
〃	大分	潘 国華	59	株栗木精華園
〃	宮崎	弥永重俊	67	株弥永緑地建設

「重点活動 2018 決議」

私たちは、急速な時代の変化を的確に捉え、長年にわたって培ってきた造園力をもって、様々な自然災害に対応した災害復旧活動・復興支援活動の実施や安全・安心で活力ある豊かな緑の創出・育成に取組むとともに、地球温暖化や生物多様性などの環境問題や緑・花・庭を通じた国際交流等に果敢に取組み、今こそ、次世代に誇れる活力ある日本、人と自然が共生する持続可能なしなやかな社会の形成に寄与する役割を果たさねばなりません。

については、平成 30 年度通常総会にあたり、

「造園力！いのちを支える造園技術で、持続可能な未来へ」

のスローガンのもと、造園建設業の持続的な発展に向けて、私たちは、法令遵守はもとより企業倫理や社会規範に沿った事業運営、企業としての社会的責任を積極的に果たしながら、「働き方改革の推進」をはじめとする下記事項に一致団結して重点的に取組むことを、ここに決議する。

一、働き方改革の推進

- 週休 2 日工事の推進、不規則長時間労働の是正
- 技能労働者の適切な賃金水準の確保
- 社会保険等の加入徹底、法定福利費の確保・適切な支払
- 労働安全衛生管理の徹底

一、担い手の育成・確保の推進

- 国家資格・日造協資格等の取得促進による技術者の育成
- 女性の登用機会の拡大
- 地域リーダーズ活動の支援等による経営者の育成
- 全国造園デザインコンクールを通じた若手入職希望者へのアピール

一、造園力の発揮機会の拡大

- 防災協定の締結促進による災害復旧活動等の展開
- 事業量・造園発注の拡大等の要望・提言活動の展開
- 新たな課題への取組みの促進
- 造園技術の向上、造園技術情報の共有化
- 会員拡大プロジェクトの推進による日造協活動の拡大

以上

藤巻会長から和田会長へ (通常総会あいさつより抜粋)

新任あいさつ 和田 新也 新会長

この度、新たに 会長を務めさせていただくこととなりました和田でございます。ひとことごあいさつ申し上げます。

まずもって、藤巻会長をはじめ今回退任された役員の皆様には、これまでのご尽力に深く敬意を表する次第です。

藤巻前会長が築き上げてきた、本部と各総支部・支部との連携を深める中で、会員の声に真摯に耳を傾け日造協活動に取組むという姿勢・道筋を、しっかりと受け継ぎ、その発展を図るべく、決意を新たにしているところです。

もとより、微力ではございますが、会長という重責を果たすために全力を傾注してまいる所存であります。

造園業界が取組むべき課題は、働き方改革などの新たな課題も加わり、より多様化しつつありますが、会員各位のご期待に沿えるよう、夢のもてる明るい未来を描ける造園産業界の発展に向けて、新執行部の方々をはじめとする 役員の皆さまのお力添えのもと 当協会の運営に当たってまいります。

会員各位には、何卒ご協力、ご支援の程よろしくお願いいたします。

退任あいさつ 藤巻 司郎 前会長

退任に当たり、ひとこと御礼を申し上げます。

平成 22 年度から 4 期 8 年間にわたり、会長として日造協の活動に従事してまいりましたが、このたび、会長の職を引退することになりました。

在任中は、各総支部、支部に伺わせていただき、造園業界が抱える諸課題について、会員の皆様からさまざまなご意見を賜りました。

頂きましたご意見をもとに、委員会や部会において検討をし、日造協の活動方針を決め、業界発展に向けた取り組みを実行に移すことができました。

これもひとえに、副会長や業務執行理事、また、高梨常任顧問をはじめとする事務局の方々、多くの会員の皆さまのお力添えの賜物と深く感謝申し上げます。

今後は、新たな体制のもと、皆さま方のさらなるご協力をいただきまして、日造協の活動が一層活発になり、夢の持てる明るい未来が描ける造園業界に発展することを心から祈念いたしまして、御礼の言葉とさせていただきます。

本当にありがとうございました。

都市公園緑地対策特別委員会・都市公園緑地等整備促進議員連盟合同会議 関係予算の拡大・確保など 6 項を要望

6 月 22 日、自由民主党都市公園緑地対策特別委員会・都市公園緑地等整備促進議員連盟合同会議において、日造協の藤巻司郎会長、(一社)日本造園組合連合会荻原博行理事長、(一社)日本公園施設業協会内田裕郎会長がともども出席し、各団体から要望を行った。



公園緑地に関する予算等の要望を行う藤巻会長

日造協は、藤巻会長から平成 31 年度公園・緑地に関する予算等の要望を行い、正本事業委員長が以下の要望内容を具体的に説明した。

- 一、都市公園等関係予算の拡大・確保
- 二、都市公園の安全・安心対策支援、長寿命化対策の確保
- 三、東日本大震災復興事業予算、熊本地震復興関係予算の確保
- 四、緑・花・庭を通じた国際交流関係予算の確保
- 五、造園工事の適正な発注等
- 六、市民緑地認定制度に係る固定資産税等の特例措置の延長について

また、日造協から、会長、副会長、総支部長・支部長等を含め、47 名が出席した。

建設業界の皆様へ

- 加入できる事業主
建設業を営む事業主

- 対象となる労働者
建設業の現場で働く方

- 掛金は
一日 310 円
(加入労働者ひとり)

国が作った退職金制度、建退共に加いしませんか

福祉の増進と企業の振興のための建設業の退職金制度です

建設工事の第一線で働く優秀な人材確保にも寄与！

- ◎ 法律に基づき運営される国が作った制度
- ◎ 建退共加入は「経営事項審査」で加点点評価
- ◎ 国からの財政上の支援
(国の助成により掛金の一部が免除)

- ◎ 掛金は全額非課税
(損金または必要経費に算入できます)
- ◎ 複数の企業間で就業しても通算して退職金を支給
- ◎ 加入の手続きは簡単
(各都道府県の建退共支部で加入)

こんなに有利！

掛金納付年数	掛金総額	退職金額
40年	312万円	603万円
35年	273万円	489万円
30年	234万円	390万円
25年	195万円	302万円
20年	156万円	225万円
15年	117万円	157万円
10年	78万円	94万円

※退職金額は、1年につき、310円(1日)×21日(1ヶ月)×12月(1年)の掛金を納めたときの金額です。
※1万円未満は、切捨てています。

独立行政法人 勤労者退職金共済機構
建設業退職金共済事業本部

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1丁目24番1号(ニッセイ池袋ビル)

TEL 03-6731-2866(ダイヤルイン) FAX 03-6731-2895

建退共のホームページを
ぜひ、ごらん下さい

建退共

検索



平成30、31年度 委員会・部会等一覧

総務委員会				
委員	所掌事務	部会名	調査・検討事項	部会委員
【委員長】 鬼頭 慎一 【副委員長】 高瀬 勝彦 小栗 達弘 細井 俊宏 持田 正樹 森川 昌紀 成家 岳 【担当理事】 井内 優 【委員】 菊池 福道 山崎 信幸 西尾 倫頭 橋本 渉 菱川 清 片岡 成文 中村 満義 森根 清昭 有賀 光昭	・会務報告、事業計画 ・規約・規程等 ・総支部及び支部関連事項 ・財務管理 ・会費徴収	財政・運営部会	・総会運営 ・事業報告、事業計画案の立案 ・決算報告、収支予算の立案 ・情報共有・公開基準の立案 ・財政・運営中期計画の点検・評価	◎細井 俊宏 阪上 清之介 正幸 浩三 石渡 敬三 北條 拓司 藤巻 信幸 山崎
		財政基盤強化部会	・会員要件拡大策の立案 ・収益増強具体化策の立案 ・入会促進具体化策の立案 ・会員サービス向上策の立案 ・図書出版・普及計画の立案	◎持田 正樹 四宮 繁司 鈴木 敬三 田丸 優 井内 賀盛 満田 裕一 下地 浩之
	・建設業関連法令制度 ・入札契約制度 ・経営合理化方策 ・業界の地位向上のための折衝	経営環境改善部会	・社会保険加入状況の調査 ・社会保険加入促進計画の点検・評価 ・法定福利費内訳明示見積書の普及 ・社会保険等加入促進説明会の企画	◎大嶋 聡 水庭 義人 鈴木 三三 高丸 敬之 田澤 重幸
		社会保険未加入対策部会	・社会保険加入状況の調査 ・社会保険加入促進計画の点検・評価 ・法定福利費内訳明示見積書の普及 ・社会保険等加入促進説明会の企画	◎森川 昌紀 長岡 健蔵 高木 俊之 善一 聡 佐藤 大嶋 大場 淳一
	・普及啓発及び広報活動 ・機関紙の編集・発行 ・造園業に関する情報、資料の収集	広報活動部会	・広報パンフレットの企画立案 ・HPの運営企画 ・日造協ニュースの編集 ・MN・ソーシャルメディア等による情報提供・交換・共有の立案	◎成家 岳 水庭 貴博 田上 国雄 中村 聡 大嶋 昌枝 矢部 真樹 桑原 宣基 藤巻 慎司 有賀 光昭
		総務企画部会	・総務委員会の対応事項の検討 ・各地域からの検討事項収集	◎成家 岳 細井 俊宏 持田 正樹 大嶋 聡 森川 昌紀
	・他の委員会に属さない事項			

技術委員会				
委員	所掌事務	部会名	調査・検討事項	部会委員
【委員長】 伊藤 幸男 【副委員長】 石出慎一郎 永島 昌和 佐藤 英介 大場 淳一 坂元 博明 荻野 淳司 中村 秀樹 【担当理事】 北 総一郎 【委員】 吉田 巧 増田 博一 丸山 晶己 水谷 春海 茨木 和幸 谷尾 寿嗣 中村 敏治 古賀 正 【技術顧問】 立山富士彦	・造園技術・技能の研究開発 ・自然及び生活環境の整備技術	技術・技能部会	・技術、技能の継承企画、資料作成 ・品質管理、工程管理、工事仕様書、歩掛の検討 ・技術者評価システムの検討 ・緑地育成工事仕様書、歩掛の検討 ・施工管理に携わる技術者の人材育成研修の企画・立案・推進	◎佐藤 英介 立山富士彦 渡邊 章 角幡 大亮 村岡 賢二 吉村 知泰
		造園技術フォーラム部会	・造園技術フォーラムの開催企画 ・技術情報発信・共有化の企画立案	◎大場 淳一 坂元 博明 河野 友和 石川 正典 藤原 哲司 岡本 秀一 増田 寿 米岡伸一郎
	・安全	安全部会	・造園工事、管理の安全衛生管理ガイドライン企画、作成 ・事故発生状況の情報収集とまとめ ・造園工事特有の労働災害防止ガイドラインの作成、啓発ツールの定期的更新 ・ロープ高所作業特別教育・ツリーライダー普及の企画・立案・推進	◎荻野 淳司 山口 雄資 風間 啓秀 高田 和己 内田 卓弘
		調査・開発部会	・造園新技術の情報収集 ・新たな造園技術、LID 技術指針の企画検討 ・他団体との技術意見交換	◎中村 秀樹 立山富士彦 山田 裕之 石井 匡志
	・その他技術関連事項	技術企画部会	・技術委員会の対応事項の検討 ・各地域からの検討事項収集	◎伊藤 幸男 佐藤 英介 大場 淳一 坂元 博明 荻野 淳司 中村 秀樹

国際委員会				
委員	所掌事務	部会名	調査・検討事項	部会委員
【委員長】 山田 拓広 【副委員長】 磯辺 久人 多々良健司 藤田 良司 松本 朗 當内 匡 【担当理事】 久郷 慎治 【委員】 嘉屋 幸浩 佐藤 康之 田口 英明 大島 健資 山本 正聡 我謝 修 中村敬太郎 清水 遠 関根 武 松村 一	・国際交流及び協力事業	国際事業推進部会	・海外プロジェクト情報の収集・発信 ・海外からの問合せ等への対応の検討 ・海外視察プログラムの企画 ・世界各国の街路樹の育成技術等情報の収集	◎藤田 良司 嘉屋 幸浩 中村敬太郎 清水 遠 関根 武 磯辺 久人 多々良健司 我謝 修
		海外日本庭園保全・再生部会	・海外日本庭園再生プロジェクト情報の収集・発信 ・海外日本庭園保全・再生活動の企画・立案・推進	◎松本 朗 佐藤 康之 松村 一 久郷 慎治 山本 正聡
	・国際園芸家協会 ・国際園芸博覧会	AIPH 部会	・海外造園関連団体との交流企画 ・AIPH 活動・Green City 活動の企画・立案・推進・情報発信 ・World Urban Parks-Japan、IFLA-Japan 活動との連携企画	◎當内 匡 田口 英明 清水 遠 大島 健資 山田 拓広 【アドバイザー】 和田 新也
		国際企画部会	・国際委員会の対応事項の検討 ・各地域からの検討事項収集	◎山田 拓広 藤田 良司 松本 朗 當内 匡

事業委員会				
委員	所掌事務	部会名	調査・検討事項	部会委員
【委員長】 正本 大 【副委員長】 内山 晴芳 稲富 俊広 関根 武 山田 通明 森川 昌紀 鈴木 一彦 【担当理事】 米内 吉榮 【委員】 佐々木 一敏 佐久間 洋 岸 省悟 南 雅義 藤本 篤靖 鶴田 忠嗣 赤嶺 大佑	・公益活動の戦略・企画の立案	造園フェスティバル推進部会	・全国造園フェスティバル企画立案 ・マスコミへの情報発信策の立案 ・魅力ある産業のアピール活動の企画立案	◎関根 武 坂井 丈浩 丸 健一 丸山 賢史 室橋 智 桑原 宣基
		全国造園デザインコンクール等推進部会	・全国造園デザインコンクール実施計画の立案 ・全国高等学校造園教育研究協議会等との企画・立案・推進 ・インターンシップの企画立案	◎山田 通明 室橋 智 石井 直樹 堤 明伸 坂戸 広三 窪田 洋
	・研修・教育	人材育成部会	・地域リーダーズ活動支援 ・造園 CPD 単位取得促進企画 ・経営研修会企画 ・造園施工管理技術検定受験対策講習会企画立案 ・職長・安全衛生責任者講習の企画立案	◎森川 昌紀 菊地 章博 桜井 裕一 荒井 一行 南 雅義 松戸 克浩
		要望・提言活動部会	・国交省、環境省本省との意見交換会の開催企画 ・総支部・支部実施の地方整備局、地方環境事務所等への要望活動へのサポート企画 ・要望・提言活動の情報共有化推進企画 ・維持管理に関わる工事・業務の経営事項審査上の取扱いの改善要望案の立案	◎鈴木 一彦 佐々木創太 荻野 淳司 関根 武 大佐 恭樹 東野 修久 後藤 明伸 堤
	・都市や地域の緑の再生と構築 ・表彰・顕彰 ・その他事業関連事項	事業企画部会	・事業委員会の対応事項の検討 ・各地域からの検討事項収集 ・その他事業関連事項	◎鈴木 一彦 関根 武 山田 通明 森川 昌紀
		地域リーダーズ	総リーダー サブリーダー 幹事 リーダーズ	◎松戸 克浩 古積 昇 岩間 紀久裕 阿部 哲也 野上 一志

資格制度委員会				
委員	所掌事務	部会名	調査・検討事項	部会委員
【委員長】 卯之原 昇 【副委員長】 高石 正弘 川津 潔 吉村 長泰 鈴木 義人 中村 秀樹 【担当理事】 古積 昇 【委員】 吉田 英司 武田 定修 依田 忠 伊藤 志朗 大島 健資 福島 慶一 植田 誠司 仲村 弘喜	・資格の認定 ・資格の普及及び活用	街路樹剪定士制度部会	・街路樹剪定士制度の運営 ・有資格者目標計画の立案 ・次年度の実施計画の立案 ・制度の普及、改善、運営効率化の企画	◎吉村 長泰 卯之原 昇 大場 淳一 大場 二郎 竹嶋 正實 吉村 知泰
		植栽基盤診断士制度部会	・植栽基盤診断士制度の運営 ・有資格者目標計画の立案 ・次年度の実施計画の立案 ・制度の普及、改善、運営効率化の企画	◎高石 正弘 石出慎一郎 間庭 直行 荻野 淳司
	・造園に係わる資格	登録造園基幹技能者制度部会	・登録造園基幹技能者講習の運営 ・有資格者目標計画の立案 ・次年度の実施計画の立案 ・制度の普及、改善、運営効率化の企画	◎鈴木 義人 桜井 裕一 片岡 成文
		新規制度等部会	・造園 CPD 協議会への対応検討 ・公園緑地樹木育成に関わる新規制度等の企画立案 ・緑地の点検・診断等の資格制度の検討 ・公園緑地樹木剪定研修会の企画・制度運営の検討	◎中村 秀樹 立山富士彦 林 和人 鈴木 義人
	・その他資格関連事項	資格制度企画部会	・資格制度委員会の対応事項の検討 ・各地域からの検討事項収集	◎卯之原 昇 鈴木 義人 吉村 長泰 高石 正弘 中村 秀樹

造園領域発展戦略委員会				
委員	所掌事務	部会名	調査・検討事項	部会委員
【委員長】 田丸 敬三 【副委員長】 久郷 慎治 持田 正樹 水庭 博 酒井 一江 四宮 繁 【担当理事】 中嶋和敏 【委員】 渡部 敦 田口 正典 川瀬 勝之 井内 優 古家 敏弘 久保 和則 下地 浩之 大場 啓壽 山田 康博 【顧問】 須磨佳津江 浦井 史郎	・アクションプログラムの推進 ・日造協の中長期施策の検討	戦略立案部会	・日造協活動の成果・実績評価 ・今後の造園界の将来構想の企画 ・戦略的活動展開方向の立案 ・日本庭園文化の世界遺産等登録の検討 ・会員からの提案によるプロジェクトの企画・立案・推進	◎田丸 敬三 渡部 敦 田口 正典 寺崎 俊司 村上 大介 東 真 木上 善貴 下地 浩之
		担い手育成・確保推進部会	・担い手育成・確保行動計画の推進 ・働き方改革の企画・立案・推進 ・本部・総支部・支部実施の資格試験・研修会・講演会開催情報の共有化推進	◎水庭 博 卯之原 昇 大嶋 聡 山田 通明 昌紀 昌紀 大場 淳一
	女性活動推進部会		・職場における環境整備策の推進 ・女性の積極的な活用促進策の拡大 ・女性就労促進行動計画の推進	◎酒井 一江 中峰 勝美 田村 尚子 山口 聖子 阪上 恵保 松戸 幸子 桑園亜希子 中川 京子 藤本加奈子 難波真奈美 本間 優子 薄井 美弥 小林 亜純 畑中雅厘子 吹上 笑美 佐々木智子 吉川香奈子 永島 千廣
		会員拡大プロジェクト推進部会	・会員拡大プロジェクトの企画・立案・推進	◎四宮 繁 山口 英勝 遠藤 征矢 松戸 克浩 藤巻 慎司 岩間 紀久裕 持田 正樹 古家 敏弘 久保 和則
		戦略企画部会	・戦略委員会の対応事項の検討 ・各地域からの検討事項収集	◎田丸 敬三 四宮 繁 酒井 一江 水庭 博

倫理委員会	
委員	所掌事務
【委員長】 有路 信 【委員】 伊澤 透 西岸 芳雄	・会員企業による造園建設業の事業活動において生じた会員企業倫理要綱に定める違反行為等に関する事項

群馬県
ふるさと自慢
真夏も涼しい「森林公園」など
藤岡市周辺の見どころ紹介



真夏も涼しく、時に霧も巻く、群馬県立みかば森林公園。園内には一等三角点があり、三角点探しの来園者も

今回は群馬県藤岡市周辺をご紹介します。

藤岡インターから南西へ車を走らせ約1時間。群馬県立みかば森林公園へ。標高約1,200～1,500mに位置し、鹿やクマを代表とする野生動物がたくさん棲んでいます。

真夏も涼しく、時に霧が巻き肌寒く感じることも。バイクツーリング、ご夫婦連れなど少人数の個人客が多く、混み合わずのんびり過ごすことができます。

園内には一等三角点があり、三角点探しの来園者も。冬期は周辺道路閉鎖に伴い公園も休園に。グリーンシーズンにぜひお越し下さい。



公園から一番近いお食事処「赤久縄」。溪流釣り、釣り堀併設で釣った魚をその場で調理してもらうことも可。食事のみの利用者も多く、山の中の一軒家ですが行列のできる人気店です。

近隣市町村、上野村は、森林セラピー基地に認定されており、科学的な証拠に裏付けされた森林浴が体験できます。

アウトドアスポットまほ一ぱの森で



藤岡名物のたまごまんじゅう



公園へは、藤岡ICから南西へ約1時間は、フォレストアドベンチャーに挑戦！冬の魅力は屋外でこたつに入りながらの星空鑑賞。道の駅上野は4月に第1期リニューアルオープン。地元特産の味噌を使った十石みそソフトクリーム、イノブタ入り餃子をご賞味下さい。

平成15年に合併で誕生した神流町。旧中里村は昭和60年に日本で初めて恐竜の足跡が発見された場所で、恐竜センターでは事前予約制で発掘体験ができます。発掘現場は約1億3,000万年前の地層で、採取した化石は一部例外を除き持ち帰ることができます。

コイコイアイランド会館下は関東一の清流神流川。河川敷で毎年夏に清流体験「神流の涼」を開催。5月の鯉のぼり祭りも圧巻です。HP等情報をチェックしぜひ旅の候補地に！

山口 聖子（群馬庚申園株）

学会の目・眼・芽 第92回

F20 with R ◆日本の気候風土、歴史をベースにした風景で“暮らす”

（公社）日本造園学会関東支部長 東京農業大学地域環境科学部 准教授 阿部 伸太

多くの印象的な風景をみてきました。札幌からの夜行列車：車窓には幻想的なシルエットが朝靄にうかぶ網走湖畔の針葉樹林、出雲の日御碕：日本海の垂れ込めた厚いグレーの雲間から降り立つ光の柱、長崎からの峠道：青い海と空に折り重なる緑に輝く岬。海外からの来訪者は、近年ではモノからコトへと変化してきています。

2016年にはアメリカの旅行会社The Society of International Railway Travelersは、JR九州のクルーズトレイン「ななつ星in九州」をチャーターしましたが、この列車をデザインした水戸岡鋭治は、そのコンセプトを「30億円の額縁」、つまり、車窓の美しい風景が絵になる列車としたと語っています。

来年、青森港にはクイーンエリザベスⅡ号が初入港することになりました。運行会社であるCUNARDのウェブサイトを見てもそうですが、特に欧米の方々にとって日本の気候風土に育まれた自然、暮らし、文化は、旅の魅力となっていることが伺えます。

御木本幸吉は、良質な真珠は美しい自然があることによるものであるとした上で、これからの日本は全国が公園になり、観光で生きていくことの大切さを説いています。

東京は今、2年後のTOKYO2020にむけて着々と準備が進み、造園界も様々

な取り組みを進めています。しかし、過去を振り返ると、こうしたイベントが、その後の地域成熟のベースになったかは疑わしい事象があることも事実です。

一方で、アムステルダム国際都市会議によるグリーンベルト論の具現化でもある紀元2600年記念事業の東京緑地計画は、結果的には都心を囲む地域に都市農地として継承され、また、国民体育大会や万国博覧会等による公園や都市基盤整備など、公園緑地は、大きな節目を契機としてストックされてきた歴史があることも事実です。

近年の東京では、大規模再開発等において緑化空間の価値が見出され、さらには、こうした民間プロジェクトが連携をとった一体的・連続的な緑化空間の創出により、図から地としての緑の地域が形成されるようになってきました。

2024年は太政官布達150年です。図としての公園の時代から、公園、歩道、民間開発の広場・緑化空間とが繋がり、さらには、そこが地方とを結ぶ結節点としての緑豊かな地域になり、その先では地方の車窓や聖火リレーコース沿道の美しい風景をぬけて、街並み、駅、港湾等の素敵なランドスケープに出迎えられる。2020年を契機に「地方も共に“より豊かに暮らしていける”風景づくりの時代」(From 2020 with Rural)になっていけばと思います。



こんな風景をみながら茶店で一息したいところですが…



震災で不通区間のある豊肥線ですが、阿蘇駅周辺には庭園のような美しい風景が厳然とある



隣接する公園と一体となった、地方との結接点としての駅の緑豊かな上部空間を期待したい

事務局の動き

- [6月]
 - 1(金)・登録造園基幹技能者制度推進協議会総会
 - 3(日)・技能五輪全国大会 課題トライアル・高校安全テキスト審査・編集 合同会議
 - 5(火)・広報活動部会
 - 8(金)・登録造園基幹技能者講習 試験委員会
 - 14(木)・街路樹剪定士認定委員会
 - 18(月)・技能五輪全国大会競技委員会
 - 19(火)・技能五輪部会
 - 22(金)・平成30年度通常総会、臨時理事会・地域リーダーズ懇親会
 - 27(水)・造園施工管理技術検定委員会

- [7月]
 - 3(火)・要望・提言活動部会
 - 4(水)・広報活動部会
 - 7(金)・登録造園基幹技能者講習委員会
 - 9(月)・運営会議
 - 11(水)・事業委員会
 - 12(木)・植栽基盤診断士認定委員会(試験部会)
 - 13(金)・担い手3法と人材育成確保、社会保険未加入対策説明会
 - 19(木)・造園領域発展戦略委員会、企画部会
 - 25(水)・資格制度委員会
 - 27(金)・事務局連絡会議、懇談会
 - 30(月)・植栽基盤診断士認定委員会

日造協
新入会員のご紹介

社名 / 住所 ☎	代表者 /FAX
(株)シゲノウエン 繁 徹範 山口県光市室積新開 2-7-23 ☎0833-78-1763 FAX 0833-78-1362	
(株)カハラカツテイエン 河原 多加男 京都府京都市西京区松尾上ノ山町 18 ☎075-381-7327 FAX 075-381-7108	

日造協賛助会員の紹介 (株)アイデック
多様化する草刈り事故対策に！スーパーカルマー

弊社は、「草刈革命」を合言葉に人にも地球にも優しい草刈りツールの開発と製造を行っています。

弊社主力製品の刈払機アタッチメント「スーパーカルマー」は、草刈り中の飛び石やキックバックによる事故を防ぐための対策ツールとして、国内海外の多くのお客様にご使用頂いており、その安全性を評価頂いております。

昨年、消費者庁が刈払機使用上の注意喚起の報道発表を行いました。その中には、使用中の飛散物関連も含まれており、「一般的な金属刃は、時速130kmもの猛スピードで、50m以上先まで飛散することがある」といった内容でした。

作業中の飛び石をめぐるトラブルとして「自動車や建物のガラス破損」や、「通行人に当たり、けがを負わせた」などが代表的な事例ですが、最近では、「自動車保険の弁護士特約を使った訴訟」も珍

しくなく、時代の流れとともに飛び石トラブルの種類も変遷しております。

弊社は長年培ったノウハウを武器に、草刈りの安全コンサルタント業務にも注力しております。会員の皆様の現場での課題にともに向き合い、「スーパーカルマー」のご提案をはじめ、皆様の安全作業の実現に貢献できるよう努めて参ります。「スーパーカルマー」の詳細は弊社HPをご覧ください。http://www.idech.co.jp/



若年者ものづくり競技大会(石川：8/1～3)、技能グランプリ(兵庫：3/1～4)への協力と、今後の大会の対応について検討した。

- 女性活躍推進部会
 - ◎5/31「造園の仕事を知ろう」出前講座(札幌市)。
 - ◎6/28 女性が働くTokyo懇話会(東京都知事)

委員会等の活動

- 安全部会
 - ◎6/3 高校安全テキスト作成の審査・編集合同会議を開催した。
- 技能五輪部会
 - ◎6/3 技能五輪全国大会の競技課題のトライアルを実施した。
 - ◎6/19 技能五輪全国大会(沖縄：11/2～5)。

編集後記 サッカーワールドカップ盛り上がってますね。日本代表の熱戦に感動しました。来年はラグビーワールドカップ、再来年は東京オリンピック・パラリンピック、各地で造園力を発揮し国内外からのお客様をおもてなしできるよう皆で頑張っていきましょう！